

第47回 口腔AI分析

ICTツール導入の補助金等により、近年は介護業界でもICTツールを活用する事業所が増えています。事業所に蓄積されている多くの情報を分析し、活用することで、より良いサービス提供が実現しています。厚生労働省が推進している科学的介護情報システム(LIFE)もその一環です。

私たちDSヘルスケアグループは、「食べたいを支えたい」をコピーレイトメッセージとして、これを続けてきました。それが形となったのが、身体機能分析AIサービス「CareWiz」社とは、数年にわたりA



北村直也社長

W改定までのカウントダウン —介護の未来—

ICTツールに関する議論を続けてきました。それが形となったのが、身体機能分析AIサービス「CareWiz」社とは、数年にわたりA

より良いサービス提供のためのICTツール活用

「」の新機能です。口腔といった声もありますが、機能分析AIの開発に協力をしていただきまし。トルトは歩行動画を撮影することで転倒リスクを可視化させて、運動メニューの提案等、機能向上をサポートする分析AIを搭載したアプリサービスです。そこに弊社の「口腔」のノウハウを提供しています。誤嚥性肺炎リスクの可視化や、口腔機能を客観的な数値で表現できることを、利用者への口腔ケアの一助になると期待しています。デバイスの中には「口腔機能向上加算の算定対象となることがわからない」と

北村 直也 (きたむら なおや) DSセリア株式会社 代表取締役社長 / 理学療法士 一般社団法人日本デイサービス協会 理事 '18年にDSセリア(株)取締役に就任。口腔と身体のリハビリに特化したデイサービス「トータルリハセンター」を首都圏に展開。21年代表取締役社長に就任。理学療法士としての経験を活かし、多くの方にリハビリや口腔の知識や技術を届けたいと、多職種による組織マネジメントに注力している。

動画で法定研修網羅

専門学校とタイアップ

イジスコンサルティング(横浜市)は、介護事業者向けのeラーニング講座を自社で開発、展開している。法定研修に対応するほか、特定事業所加算取得のための研修計画にも対応できる。2月には価格改定を行い、リーズナブルな提供体制とした。



イジスコンサルティング 宮本芳広社長

同社が展開するeラーニング講座「介護のきほん講座 介護のひきだし」では、訪問通所、居宅介護支援

施設、通所リハ、障害などの事業所に対応したコンテンツを展開する。それぞれマネジメント、安全衛生管理、利用者対応・権利擁護、倫理・法令などのジャンルがある。「情報公開制度上、公表が必要となる研修項目はすべて使って使い分けが可能」

「排他介助」など、介護の基本技術に関する動画を揃える。「これらの無料版は、家族介護を行う一般の人から活用してもらっている」(宮本社長)。このほか、料金改定を行った。初期設定費用、利用料は無料で、

能。従業員数30〜100名規模の民間会社100社以上の受講実績がある。eラーニングを導入した事業所には、専門学校の講師による個別研修も提供。事業所特有の課題にフォーカスした内容だ。その様子を録画しeラーニング講座として後日個別研修を受講した事業所に提供するなど、サービスも行っており、好評を得ているという。同社ではこれらの有料版のほか、「無料版」も展開。「移動・移乗」「食料介助」「入浴介助」「排泄介助」など、介

「特定技能育成1期生12名が来日」の出席者。福祉センター(兵庫県加古川市)は、インドネシアの国立職業訓練所内で実施している「特定技能人材養成コース」の第2期を開講した。定員は第1期の16人から50人

に拡大。寮生活をしながら日本語を3ヵ月集中的に学び、同グループから派遣する介護職員が技術面を指導する。また、第1期生のうち試験に合格した12人が月内に来日。日本で研修を受けた後、4月から各介護施設で就